

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：やすらぎの家デイサービスセンター（認知症対応型通所介護）

日 時：令和 8 年 3 月 5 日(木)

場 所：やすらぎの家デイサービスセンター

出席者：

利用者代表	0 名	地域代表	2 名
利用者家族	1 名	市高齢者福祉課	1 名
第三者委員	1 名	事業所職員	1 名

議題

1. デイサービスの利用状況について
2. 行事・活動について
3. ボランティアとして利用される方の活動、デイサービスでできる取り組みと今後の課題
4. 意見交換

●利用状況について

【令和 8 年 2 月現在 利用登録者 21 名の状況】

性別	男性 2 名	女性 19 名			
介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
分布	9 名	8 名	4 名	0 名	0 名
利用頻度	週 5 日	週 4 日	週 3 日	週 2 日	週 1 日
	1 名	4 名	6 名	6 名	4 名
平均年齢	84.09 歳（昭和 1 ケタ 7 名、昭和 10 年代 10 名、昭和 20 年代 3 名） 70 歳～98 歳				
平均介護度	1.8				

●行事・活動について

実施状況

8 月	夏祭り、誕生会、調理、お茶口・お菓子作り、送る会
9 月	外出（出雲大社・万九千神社）、長寿お楽しみ会（敬老会 マジックショー・銭太鼓）、シルバークウーク外出（花の郷・県立美術館）、避難訓練、調理、おやつ作り、お彼岸おはぎ作り、ボラさん歌の会
10 月	外出（くすのき広場・須佐神社・馬木不動尊・吉兆館足湯・湯の川足湯）、出雲駅伝応援観戦、運動会、阿須利神社お祭り、誕生会、調理、おやつ作り、つるし柿作り
11 月	三谷神社お祭り、外出（三刀屋天満宮・吉兆館足湯・一畑薬師・馬木不動尊・霊山寺

	公園・出雲ドーム・立久恵峡・浜山公園・荒神谷遺跡公園・湖陵福祉センター秋祭り)、調理、おやつ作り (かぼちゃ餅、ネギ焼き・ぜんざい)、災害時避難訓練
12 月	ボラさん歌の会、忘年会、クリスマス会 (マジックショー)、紅白歌合戦、外出 (万九千神社)、誕生会、お餅つき、調理、おやつ作り (ぜんざい・柚子シロップ)
1 月	初釜、誕生会、初詣 (阿須利神社・大社北島さん) お正月遊び、小正月
2 月	節分、誕生会、外出 (斐川公園 梅花見・荒神谷遺跡公園 椿花見)、調理、おやつ作り (どら焼き・バナナホットケーキ)、ボラさん歌の会

今後の主な行事

3 月	ひなまつり、ホワイトデー、お彼岸ぼたもち作り、誕生会、調理、おやつ作り
4 月	長寿お楽しみ会、調理、おやつ作り

● ボランティアとして利用される方の活動について 《意見交換》

【事業所】

もともとデイサービスを利用するにあたり、導入の段階で『お手伝いに来て欲しい』と誘い、ボランティアとしての思いで利用につながったケースが多い。現在登録 21 名の中でもともと導入の際にボランティアとして出かける事を承知し利用に至った方が 10 名。そのうち、現在もその思いで現役ボランティアとして活動される方が 5 名。

小さな事業所であると草取りや庭の整備をしても、すぐに終了してしまい、活動する場が足りない状況。そこで地域へ出かけボランティア活動が広げられないかと、現在は近くの交差点にある地域の花壇の周りの草取りへ出かけている。

今回、大津コミセンセンター長へ運営推進会議の出席を依頼したが、別件で参加できないとのことで、用件についてのアドバイスを受けた。

～近くの交差点の他、地域には小さな公園も多く、草取りなどの環境整備は喜ばれる、自治会が管理なので声をかけられるといい。弥生の森周辺の整備は交代でされるが、声をかけると喜ばれる。保育園、幼稚園、学校には地域で子供の育成、交流の一環で花壇の整備をしているので、活動に参加しそこで子供たちとの挨拶や声掛けを通しての交流をするとういのは、と意見を頂いた。

草取りなど誰もが喜んでくれると思うが、勝手にはできないので、今回コミセンへ話をし、許可をもらえたので、少しずつ活動の場を広げていきたいと思う。市役所ではそういったボランティア活動の受け入れ等はないですか？社協の管轄になりますか？

【市高齢者福祉課】

社協や、市では医療福祉連携課になります。

【第三者委員】キャラバンメイト会長

以前より大津町へは認知症の方への声掛け訓練で大津社協と協力し、毎回参加させてもらっている。

キャラバンメイトでの活動でも認知症当事者の方の活躍の場を広げていこうと働きかけているが、受け入れる側の認知症に対しての偏見は拭えない。そんな中、高知県では当事者の方がデイサービスを自分で立ち上げ、みかん畑の多い地域なのでみかんの収穫を活動とし、働く場を確保されてい

る。また、介護施設で介護のスタッフとして仕事をしている人もある。役割を持てる場所が必要。やすらぎの家ではそういった役割のある活動を取り入れていて参考になる。

【家族】

家ではこれまでやっていたことを『とりあげられる』『やらなくていいと止められる』ことが増えていて、やることがなくなる。やすらぎの家では盛付や、配膳をして『人の役に立てる』場面があり、ありがたい。誰かのために動き、お礼を言われるということが、精神的にも安定し穏やかに過ごせると思う。写真で見せてもらった色々な活動は、それをする場面作りをされているのか？

【事業所】

ほとんどが場面設定をして仕向けています。その中でやっているうちに、自らこうしたい、こうする方がいいと、別の事に気が付き動かれることは多いです。

【家族】

たいへんですね。家では、取り上げられるばかりなので、人の役に立てる場面を作ってもらってありがたい。うちもアルツハイマー型認知症なので、今はできていても進行するうちにできなくなるだろうし、興味がなくなっていくと思う。失敗し上手くできなかったことは忘れても、失敗してダメージを受けた心だけが残る不安定になる。そう思うと収穫作業などは単純作業で一番向いていると思う。掃除や洗濯などキレイになること、見た目にわかりやすいので達成感がある。その反面料理は難しいと思っている。

【事業所】

同じ認知症でも進行の度合いが違い、環境や関わり方、生活スタイルの影響が大きいと思います。不安や孤独な思いが少なく、人の役に立てる思いや達成感が持てることが増えることが病気の進行を遅らせることに繋がるという考えから、デイではそういった場面を作るようにしている。

【第三者委員】

当事者の話を聞こうと『ピアサポート』の取り組みをすすめられています。認知症の人が認知症の人の話を聞き、同じ悩みを抱える者、仲間がいることで共感し合い、お互い心強く安心感が得られる。

企業サポーターは増えているが、実際の受け入れは難しい。

【事業所】

男性の利用者の方は自動車整備の仕事をされていたので、軽自動車のタイヤ交換をしてくれました。その後車の点検もしてくれました。出雲市の車両はたくさんありますが、タイヤ交換とかさせてもらえるといいですが。

【市高齢者福祉課】

たくさん車両はありますが、業務委託しています。

【家族】

タイヤは心配です。

他の単純作業の方がよいのでは？

【事業所】

社協のフードドライブのボランティア作業に事業所から事務スタッフが参加しているが、そういった所へ一緒に参加してみるのもいいかもしれません。

【ボランティア】

数を数えたり、梱包したものを運んだり、人数が多ければ助かることだと思います。利用者の方もそういったボランティア活動に参加することは、やりがいもあると思います。

【事業所】

一般企業での受け入れは難しいと思われるので、まずは市や社協など公な機関が認知症の方のボランティアを受け入れてくれると、地域で認知症の理解も深まり、認知症になっても住みよい町になるのでは？と考える。すぐに何が変わる言うことは難しいと思うが、そういった意見があることを市の方でも理解してもらい、未来につながる事を望んでいる。

【第三者委員】

フードドライブでの活動は良いと思います。キャラバンメイト連絡協議会でも話してみます。